

《純粹理性批判（下）》

图书基本信息

书名：《純粹理性批判（下）》

13位ISBN编号：9784003362551

出版时间：1962-7-16

作者：カント（Immanuel Kant）

页数：431

译者：篠田 英雄

版权说明：本站所提供下载的PDF图书仅提供预览和简介以及在线试读，请支持正版图书。

更多资源请访问：www.tushu111.com

《純粹理性批判（下）》

内容概要

訳者のことば 宇都宮芳明

人間は言葉を持ち、言葉をつなげてものごとを考えるが、カントは人間の能力、つまり「理性」とよばれる能力について、それをどのように働かせたらよいかを徹底して追究した。と言うのも、人間ひとりひとりの生き方は、その人間が自分の理性でものごとをどのように考えるかによって決まるからである。理性は、科学的知識を求める場面だけではなく、道徳とはなにか、美とはなにか、神や宗教とはなにかを考える場面でも働いている。科学的知識だけを絶対視する誤りを避け、また迷信や狂信に陥らないためには、これらのあらゆる場面で理性を正しく働かせるようにすることが必要である。カントは人間の自由と尊厳の確保を目指しつつ、こうした理性批判の道を歩いたのである。--このテキストは、単行本版に関連付けられています。

カント自身、哲学における「コペルニクスの展開」だと述べた本書は、近代哲学全体にはかりしれぬ影響を与え、その後に生まれたあらゆる哲学の豊富な源泉となった哲学史上不朽の著作。本巻には、先験的方法論の全体を含み、綿密詳細な索引を付す。

《純粹理性批判（下）》

作者簡介

《純粹理性批判（下）》

書籍目録

2 先験的方法論(純粹理性の訓練(独断的使用における純粹理性の訓練
論争的使用に関する純粹理性の訓練
仮説に関する純粹理性の訓練
理性の証明に関する純粹理性の訓練)
純粹理性の規準(我々の理性の純粹使用の究極目的について
純粹理性の究極目的の規定根拠としての最高善の理想について
臆見、知識および信について)
純粹理性の建築術
純粹理性の歴史)

《純粹理性批判（下）》

版权说明

本站所提供下载的PDF图书仅提供预览和简介，请支持正版图书。

更多资源请访问：www.tushu111.com